

# プラント機器を環境保護機器に革新し業績回復

業種：各種ギアポンプ、各種給油装置等製造、販売

所在地：荒川区西尾久 7-52-1

資本金：6000万円

設立：昭和10年2月

従業員：85名

経営塾受講年度：平成22年度

経営革新計画：平成23年4月取得

ことがわかった。環境保全に役立つ製品として、送液が外部に漏れることのない完全密閉型式の「シールレスギアポンプ」の開発を新事業として目指した。

新製品の開発が進む中、リーマンショックがおき、当時の主要顧客先である石油化学業界の設備投資が大きく落ち込み、当社の売上も20%減となった。

また、内部の課題として、「主要部品の内製化」があったが、シールレスギアポンプを開発し、新たな市場を開拓することこそ、企業存続に必須と判断し、開発のスピードを緩めず、継続して推進した。

## 支援内容

あらかわ経営塾参加の際に、新製品開発という課題が明確になっていたと同時に、業界における画期的な技術であり、まさに「経営革新」にふさわしい取組であったため、経営革新計画の承認取得を目指した。新製品の設計図を、計画書として文章化し、技術者以外にも、わかりやすい言葉や表現となるようにアドバイスした。

## 受講後の変化

リーマンショックの影響で当社としても苦しい状況の中で、新製品開発のスピードを加速する決断を下し、あらかわ経営塾修了後の平成23年4月に経営革新計画の承認を受け、「シールレスギアポンプ」が完成した。

シールレスギアポンプは、環境保全、安全性の観点から発売と同時に大ヒットした。

その結果、平成23年には売上がV字回復、平成24年度には耐熱性を向上し、350℃の高温液も移送可能とした「耐熱性シールレスギアポンプ」が「第1回荒川区新製品・新技術大賞」（12ページ参照）荒川区長賞（最優秀賞）を受賞した。さらに、平成25年度には、経営革新計画に基づき、新事業に積極・果敢に取り組み、経営の顕著な向上を果たしたことが認められ、「東京都経営革新最優秀賞」を受賞し、マスコミに広く取り上げられ、当社の製品の知名度は更に広がった。

さらに、主要部品の内製化、量産化が軌道に乗り、コストダウンに成功するとともに、品質の更なる向上を目指し、各種補助金等を活用し、最新の三次元測定器等を導入する等、設備投資にも積極的に取り組んでいる。

現在は、情報セキュリティの強化の影響で、データセンターの非常用電源装置用のギアポンプや、エコカー用エンジンの給油用ポンプへの実績が伸びており、今後も多方面で当社の製品の活躍が更に見込まれる。

## 今後の展望

今後は、シールレスギアポンプの更なる品質向上を図るとともに、東京オリンピック後に予想される国内需要の落ち込みに対応するため、実質上、新たな世界規格になるといわれているアメリカ石油協会の規格(API規格)に適合するポンプを開発し、海外比重を増やし、競争力を強化していく。

## 受講生のコメント

代表取締役 井上 浩氏

経営革新計画の承認取得は大変であったが、計画を作成し、実行することによって、V字回復のよいきっかけとなった。



## 担当講師のコメント

あらかわ経営塾講師

中小機構経営支援アドバイザー  
溝口 晴美氏

あらかわ経営塾が新製品開発の成功と見事にシンクロし、その後の発展のきっかけになったことをとてもうれしく思っております。



第一工場



耐熱シールレスギアポンプ

## 企業概要

オンリーワンの技術を持つギアポンプ(※)のトップメーカー。

当社製品は、最高水準の技術により、あらゆる液体の移送が可能であり、1台で200mの高層階へ燃料を移送することが可能であるため、高層ビルの非常用電源装置に燃料を供給するギアポンプ、発電所のタービン潤滑油を送るギアポンプは当社が独占している。

東京スカイツリー、丸の内KITTE、コレド日本橋、東京ミッドタウン、あべのハルカス等に当社の製品が使われているなど、国内外で高い評価を受けており、顧客数は1000社を超える。

## あらかわ経営塾を受講する前

当時、新たな顧客ニーズを調査したところ、大手企業では、生産性向上のための設備投資とは別に、環境保全のための投資が増加傾向にある

※ギアポンプとは

歯車の噛み合わせを利用して液体の移送に使用するポンプで、食品メーカーや大規模な化学プラント、非常用電源など幅広く使用されている。